



QRコードを読み取り  
申込フォームより  
お申し込みください

# 科学技術が広げる 未来社会(Society 5.0)に向けた知識武装

【実施期間】2023年2月8日～2月22日

※上記期間の各水曜日 午後7時00分から午後8時30分まで開講予定

定員  
20人

【実施会場】大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室

(富山市新富町1-2-3 CiCビル5階)

2023  
2/8 水

## 人工知能(AI)、データサイエンスの動向と その理解に必要な基礎知識

現代社会学部・教授 新森 昭宏

人工知能研究の歴史を概観し、まず1990年代までの成果である探索、論理、推論などのアルゴリズムを概説します。次に、2000年以降に盛んとなった機械学習、そして深層学習の概要と活用状況について概説します。

2023  
2/15 水

## デジタルトランスフォーメーションの動向と その推進のための基礎知識

現代社会学部・教授 新森 昭宏

デジタル技術を用いた変革である「デジタルトランスフォーメーション」(DX)の動向とその推進のための基礎知識を説明します。

2023  
2/22 水

## ライフサイエンスにおけるデータサイエンスの現状

現代社会学部・准教授 豊岡 理人

ライフサイエンス(生命科学)において近年増加しているデータ集約型の研究について紹介するとともに、これらの研究推進を後押しするオープンサイエンスの取り組みについて紹介します。

2016年に発表された「第5期科学技術基本計画」で、「サイバー空間とフィジカル空間(現実空間)の融合により経済・社会的課題を解決し、人々が質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会」として「Society 5.0」が提唱されました。人工知能(AI)やデータサイエンスを活用した成果が数多く産み出され、ビジネスや生活においても活用されるようになりました。デジタル技術を用いた変革(デジタルトランスフォーメーション:DX)への取り組みも活発に行われるようになりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大は、私達の知識がまだ不十分であることを思い知らせることとなりました。

本講座では、人工知能(AI)やデータサイエンスを活用したり、DXを推進したりするにあたり必要となる基礎知識を学びます。さらに、コロナ禍においてライフサイエンスにおけるデータサイエンスの現状を学びます。このような知識武装を行うことにより、社会の動きを適切に理解し、生活やビジネスの場で知識を活用する力を養うことを目的とします。